

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公表番号】特表2009-532373(P2009-532373A)

【公表日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-036

【出願番号】特願2009-503137(P2009-503137)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 K 31/553 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 417/14 (2006.01)

C 0 7 D 498/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/506

A 6 1 K 31/553

A 6 1 P 27/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 417/14

C 0 7 D 498/22

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月15日(2010.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

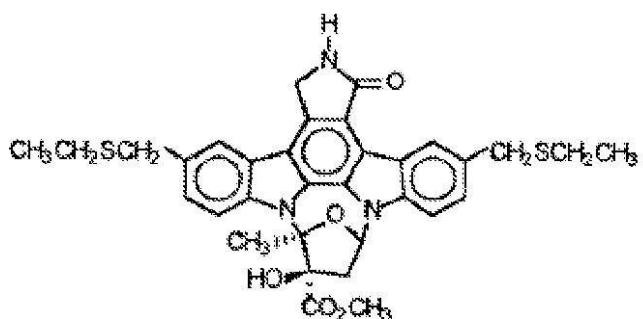
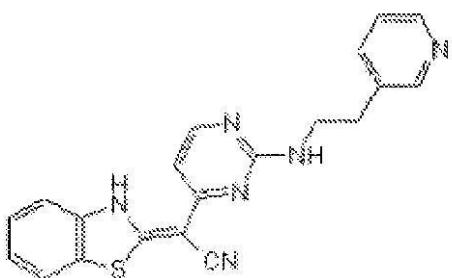
【請求項1】

緑内障を患う患者において眼圧を低下させるための組成物であって、有効量の1種または複数のJ u n N末端キナーゼ(JNK)阻害剤および医薬として許容できるビヒクルを含む、組成物。

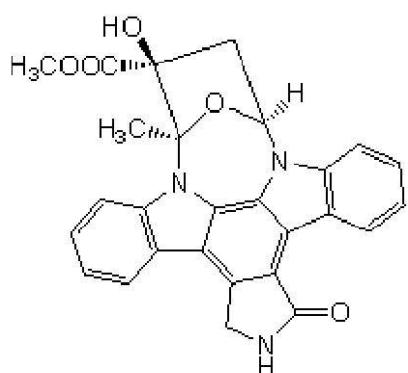
【請求項2】

前記JNK阻害剤がS P 6 0 0 1 2 5、

【化1】



, および



からなる群より選択される請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

経口製剤である請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

局所点眼薬(topical ophthalmic)、手術用洗浄液または眼内製剤である請求項1に記載の組成物。

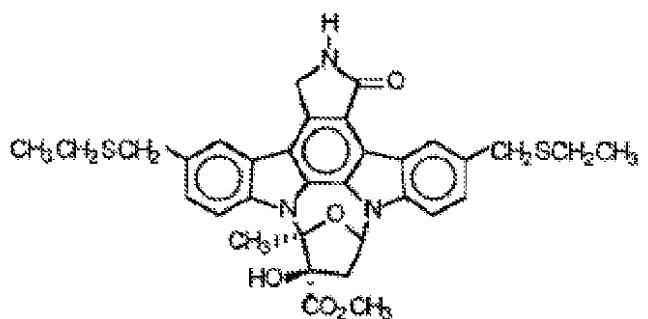
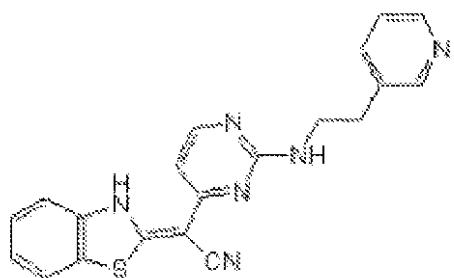
【請求項5】

高眼圧症を低下させるための組成物であって、有効量の1種または複数のJNK阻害剤および医薬として許容できるビヒクルを含む組成物。

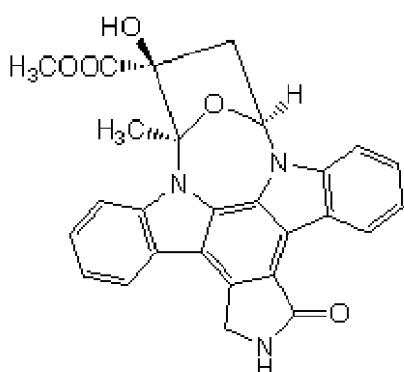
【請求項6】

前記JNK阻害剤がSP600125、

【化 2】



および



からなる群より選択される請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記組成物が経口製剤である請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記組成物が局所点眼薬、手術用洗浄液または眼内製剤である請求項 5 に記載の組成物

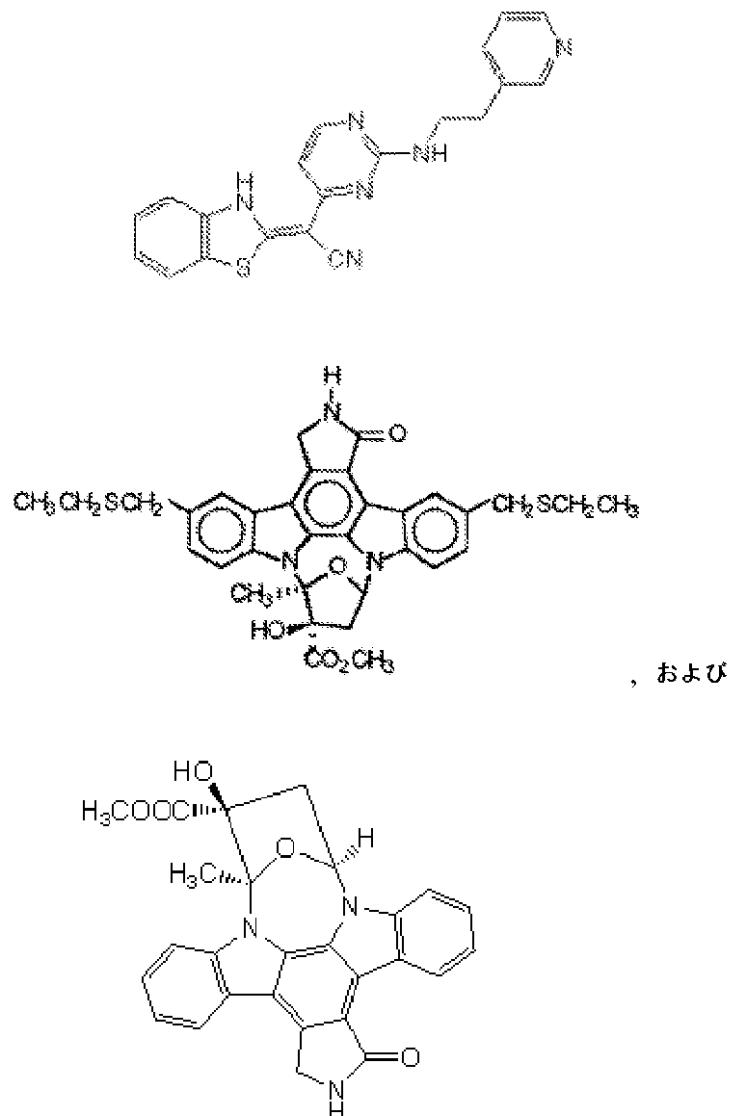
【請求項 9】

眼圧を低下させ、神経保護をもたらすための組成物であって、有効量の1種または複数のJNK阻害剤および医薬として許容できるビヒクルを含む組成物。

【請求項 10】

前記 INK 阻害剤が S P 6 0 0 1 2 5

【化 3】



からなる群より選択される請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 1】

前記組成物が経口製剤である請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 2】

前記組成物が局所点眼薬、手術用洗浄液または眼内製剤である請求項 1 0 に記載の組成物。